

井郷

いさと

地域会議だより

第53号

2021 (令和3年)

12月



地域の課題解決 地域の元気を応援します。

解説 わくわく事業とは

地域の皆さんが地域課題の解決に取り組む活動に対して、豊田市が補助金を交付する仕組みです。活動をとおして地域が活性化し、まちづくりの担い手づくりにもつながります。

募集期間 令和4年 **1月4日** (火) から

1月31日 (月) まで

募集要項

豊田市役所猿投支所
井郷交流館の2か所で配布

申請書類

上記2か所で配布するほか、
豊田市ホームページから印刷
することも可能

◎応募方法などは内側をご覧ください。

プレゼンテーション **3月9日** (水)

猿投コミュニティセンター 大会議室 午後6時～

補助金限度額 **100**万円(1団体あたり) **補**助率 原則 **9割** 以下

※井郷地域全体の補助金合計額は500万円 ※特例で10割まで

成果発表会 の取り扱い

成果発表は3月のプレゼンテーションと同じ日に行います。なお、令和3年度は事業を行い、4年度は申請しない団体は成果発表のみ行っていただきます。

わくわく事業

申請ガイド

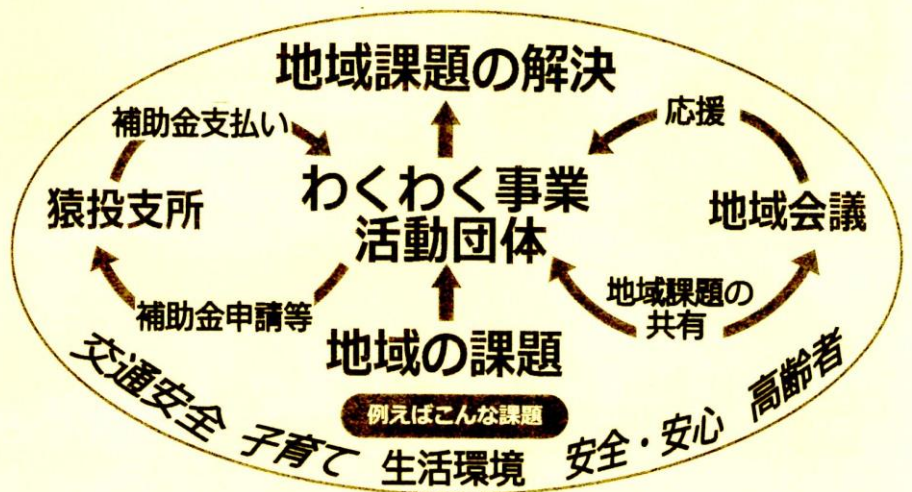


わくわく事業に応募できる団体の要件

- 5人以上で組織された自主的なグループや市民活動団体
- 活動が当該地域の多くの住民に支持されると認められる団体
- 政治・宗教活動および営利活動を目的としていない団体
- 暴力団でない団体、暴力団員が役員となっていない団体かつ暴力団または暴力団員と密接な関係を有しない団体

地域の課題だからこそ、地域で解決できることがあるはずです。

まちづくりや伝統芸能の継承など、身近な課題が見つかったら、わくわく事業補助金を利用して、課題解決を！



わくわく事業の取組みに大切な4つの項目

■ 公共性や公益性のある事業であること

申請する事業は、地域の課題解決や活性化につながりますか。また、趣味的活動や特定の個人・団体の利益を目的にしていませんか。

■ 補助事業者として要件を満たしていること

募集要項に定められたすべての応募要件を満たしていますか。

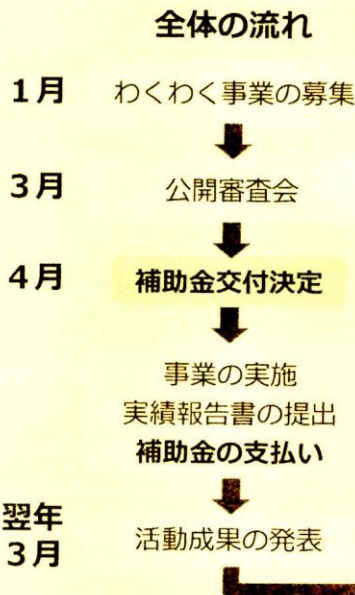
■ 事業目的や内容がわくわく事業の主旨にあっていること

申請する事業は安全・安心な地域づくりを推進する活動であるなど、要項で定められた8項目のうち、いずれかにあてはまっていますか。

■ 実現性や将来性のある事業であること

申請する事業は、事業計画や実施体制が十分検討されていますか。また、地域活動の担い手の育成につながると期待できるものですか。

わくわく事業 1年の流れ



申請団体が行うこと

募集要項を受け取り、申請書に必要な事項を記入して提出

事業内容を地域会議委員に説明（プレゼンテーション）

※補助金は前払いも可能（概算払い）

計画どおりに事業を実施
事業終了後、30日以内に実績報告書を提出

1年間の活動の成果を発表

※書類の提出先は猿投支所

説明のポイント

- ① 地域課題の解決に向ける思いを簡潔に伝えてください。
- ② 発表時間内にわかりやすく説明してください。

わくわく事業 応募の方法



身近なところから、地域の課題を見つける。

わくわく事業をとおして、こんな地域になったらいいな！と思える課題、地域住民だからこそできること、ありそうですね。



課題解決への思いを共にする仲間を、5人以上集める。

例えば、「子どもの安全を守りたい」などのように、「わたしもそれに困っている」という仲間を、5人以上集めます。



自分たちが取り組める活動を考える。

課題にはいくつもの原因があります。どの課題に絞り、どのような状態を目指すのか、そのために何をするのか考えましょう。



必要な費用について話し合い、予算を立てる。

何をするのが決まったら、必要な費用を考えてください。課題解決のために効果のあがる予算を立てましょう。



申請書を作成し、応募する。

自分たちの思いが多くの人に伝わるよう、読みやすく、わかりやすい申請書を作りましょう。困ったときは、猿投支所へご相談ください。

■ご相談は猿投支所まで
はじめに、わくわく事業に取り組まれる団体はもちろん、書類の作成等でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

交流館で配布しています。また、豊田市のホームページから印刷することもできます。

申請書の入手方法

わくわく団体の活動紹介

地域会議委員が活動現場に出向き、活動内容を確認してきましたので、感想を紹介します。



① 高町まちづくりの会

花苗の植付け作業は、15年目になり、作業手順がすばらしいと感じるとともに真剣さが伝わりました。また、花壇施設全体についても創意工夫の結果をたくさん見れて良かった。



④ 御船の川と環境を守る会

地域の環境を守り故郷の思い出づくりとして生かされていて、非常に効果的な活動とと思いました。また、地域のふれあいの場と環境意識の継続のためにも当該事業が今後も続けられることを望みます。



② 天道諺言伝え編集委員会

昭和時代にこの地で生きてきた先人たちが生活していた文化を分かりやすく子供たちに伝えたいという委員の皆さんの気持ちが伝わってきました。また、委員の皆さん全員がこの地を愛するとともに、家族的な雰囲気の中で和やかに意見交換されていました。



③ 下古屋まちづくり委員会

今回購入した自走式の草刈機で平らな山頂の笹の群生地を刈り取りしていた。また、内浜化成(株)のボランティアの方の参加は、大きいと言われておりましたし、そのとおりだと感じました。

⑤ 井郷便利帳編集(改訂)委員会

作成するHPの説明については、先端のWeb画像を観て、すばらしいと思いました。また、意見交換では、苦勞と工夫した内容が聞けて、よかった。

支え合いの地域づくりにつながるわくわく団体紹介 (猿投台地域)

青木台たすけあいの会

News & information



青木台たすけあいの会は、青木台自治区内の高齢者、障がい者のちょっとした困りごとを「いつまでもここで暮らしたい」との気持ちに寄り添い、助け合いができるまちづくりの推進を目指して、令和2年度に発足しました。同年わくわく事業を活用して必要な備品等を購入し、活動を展開しています。

News & information

問合せ先 井郷地域会議事務局

豊田市役所地域振興部 猿投支所 地域振興担当 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1
電話 0565-45-1214 F A X 45-4824 電子メール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

